

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター研修【第3回】

7月26日(火)10:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者10名

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

2 内容

【講義・演習】「地域活動者のネットワークの構築」

弘前大学大学院 地域社会研究科

教授 内山 大史 (うちやま だいし) 氏



3 内山氏講義要旨

- 地域課題解決の取組みにおいて重要なのは、価値の創造、多様な主体との連携・ネットワーク形成です。
- 価値の創造にあっては、自分が所属している機関からの視点では発見できないものもあります。多様な主体同士が、克服したい課題を並べ、それらを貫く課題を見つけることが必須です。
- 地域が保有している力について、SWOT分析等により正しく理解し、エビデンスに基づいた戦略を立てることが大切です。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	87.5%	どちらかと言えば満足	12.5%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- 身近な地域課題解決への取組みに目を向ける有意義な時間になりました。自分では思いつかないようなアイデアも出ていて、とてもためになりました。
- 現状を把握している方たちの生の声を聞いたので、来た甲斐がありました。初めてのオンラインワークショップでしたが、ネットを介すことで普段よりも安心してお話ができました。新しい考え方を取り入れることができ感謝感激です。
- 限られた時間で地域活動について考えるグループワークは普段できないことであるため、今後とも機会があれば参加していきたいと思います。
- 今回、聴講ということで参加させていただきましたが、かなり視野が広がりました。今後も機会があれば参加したいと思います。学校外の方と関われる機会はとても貴重だと思いました。

今回は、弘前大学大学院地域社会研究科が取り組む「産学官金」連携による地方創生の取組み・人財育成事業を基に、講師 内山氏に講義・演習をお願いしました。

演習では、参加者を地域別のグループとし、それぞれの地域の強み・弱みなどを SWOT 分析及びクロス SWOT 分析を通じ、課題解決の方策を考え、その分析することの大切さや戦略を立てることのポイントについて学びました。

同時に、会場参加でもオンライン参加でも、一緒になって考えを深める手法についても学ぶ、貴重な機会となりました。